

見て、知って、誰かに話したくなるコミュニティ情報紙

FUTABANOWA

ふたばのわ

Vol.145
2025.11.15



スポーツでつながる笑顔 双葉町町民体育祭	P.2
令和7年度 双葉町敬老会	P.3
ふたば星空夜市 第8回 彼岸花を愛でる会	P.4

今月の表紙

今月の表紙は、第59回 双葉町町民体育祭に参加した子ども達による、選手宣誓の様子です。

子ども達は元気いっぱいに手を上げ、競技に取り組むことを誓いました。

P.2にて、当日の様子を掲載していますので、ぜひご覧ください。

スポーツで つながる笑顔 双葉町町民体育祭



9月27日、「第59回 双葉町町民体育祭」を開催しました。町内や避難先から多くの方々が集まり、昨年を上回る約2000人が参加。久しぶりに顔を合わせ、「大きくなったね!」「この優勝旗懐かしいね」と笑顔で言葉を交わす町民の姿も見られました。

当日は赤・黄・青・緑・紫の5つのチームに分かれ、優勝を目指して競い合いました。晴天の下、チーム全員でボールをリレーのようにつなぐ「キャッチングボールむかで」、フラフープでボールを引いて進む「ボールとさんぽ」、目隠しをした人を声で誘導して水を運ぶ「初期消火」など、息を合わせて挑む種目が行われました。午後は「宝拾い」「ボウリング」「玉入れ」といった、幅広い世代が楽しめる種目が続き、中でも最後に行われた「玉入れ」では、これまでの種目で培ったチームワークを活かし、お互いに力を合わせて玉を投げ入れる姿がありました。

会場は終始笑顔に包まれ、年齢を問わず交流が生まれる、温かくにぎやかな体育祭となりました。



ボールとさんぽ



宝拾い



玉入れ



キャッチングボールむかで



初期消火



ボウリング



双葉中学校 三年生
富士田 凜桜奈さん

今回初めて体育祭に参加しましたが、無理なく体を動かすことができ、とても楽しかったです。会場に響く町民のみなさんの声援が温かく、とても印象に残っています。このような行事があると知り、双葉町に関わることがますます楽しみになりました。今後もぜひ町民の方々と一緒に、さまざまなイベントに参加してみたいと思います。



今年の優勝は黄色チーム!

令和7年度 双葉町敬老会

9月12日、いわき市の八幡台やまたまやで「令和7年度 双葉町敬老会」を開催しました。埼玉県の大須市をはじめ、避難先から108人の町民が参加しました。年に一度、懐かしい顔ぶれが一堂に会する貴重な機会とあって、会場は和やかな雰囲気になりました。

当日は、伊澤町長が式辞を述べ、岩本議長をはじめとした来賓からの祝辞が寄せられました。参加者からは「こういった会やイベントに参加するのは久しぶりで嬉しい」「昨年の敬老会以来に集まれた、楽しみにしていた」との声が聞かれました。

続く昼食交流会では、お祝いの膳を囲み、思い出話に花を咲かせていました。ふるさとの仲間と語らう特別な時間を堪能し、別れ際には「またね」と再会を約束していました。



ふたば星空夜市

8月28日と29日の2日間、双葉町

産業交流センターで「ふたば星空夜市」が初開催され、仕事帰りの町民など多くの人でにぎわいました。

このイベントは、音楽イベント「ふたばの声」と飲食・交流イベント「ふたば飲み」がひとつになり、さらに映画上映企画「ふたばシネマ」も加わった新しい催しです。音楽・グルメ・映画を一度に楽しめる場として生まれ変わりました。

会場にはカレーやピザ、クレープなどの出店が並び、訪れた人々はできたての料理を味わいながら会話を

を楽しんでいました。

主催者の一人である山本敦子さんは、このイベントについて、「町民の方だけ、町外の方だけでは実現できないイベントです。イベントを通して一緒に双葉町を盛り上げ、このイベントが多くの人との交流の場になつてほしいです」と語っていました。

初開催ながら大盛況となった「ふたば星空夜市」。町に新しいにぎわいをもたらすイベントとして、今後の展開にも期待が高まっています。



双葉町公式YouTubeチャンネルにてダイジェストムービーを公開中!

第8回 彼岸花を愛でる会

10月4日、川俣町山木屋で「第8回 彼岸花を愛でる会」が開かれました。当時、細谷地区に住んでいた町民や川俣町の方など約30人が集まり、咲き誇る彼岸花を眺めながら交流を深めました。参加した町民からは「久しぶりに細谷の人と会って話ができてよかった」「来年もまた会おう」といった声が聞かれました。

この会は、震災当時の細谷区長・大橋庸さんが区内の彼岸花を川俣町へ移植したことから始まり、町民の手で8年間守り続けられています。今では秋の恒例行事となりました。その思いを受け継ぎ、今年の会を主催したのが現区長の田中信一さんです。田中さんは「細谷地区の彼岸花をきつかけに、交流の輪が広がっていくのが嬉しい」と話します。花を愛で、町民と再会を喜び合う時間を大切にしながら、地域の方と協力して彼岸花の手入れも欠かさず続けています。「せっかく始まった取り組みなので、これからも多くの人と出会い、つながる場として続けていきたい」と今後への意気込みを笑顔で語りました。

彼岸花が咲く季節に集う人々の姿には、町の過去と今、そして未来をつなぐ温かな想いが息づいていました。



彼岸花を愛でる会 主催
細谷区長 田中信一さん



町内の放射線モニタリング情報

町内の放射線モニタリング情報は右のQRコードよりご確認ください。
測定値は随時更新中です。

詳細はこちらから
ご覧ください。➡

